

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年 1月18日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100518
法人名	有限会社 友星メディカル
事業所名	グループホーム さくらが丘
所在地	鹿児島市桜ヶ丘4丁目1-7 (電話) 265-3700
自己評価作成日	平成23年 11月7日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成23年11月28日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・家庭的な雰囲気の中で、一人一人の気持ちと向き合い、その方にあった生活が送れるようサポートします。女性の入居者が多く、手作りや裁縫の時間を設け、桜ヶ丘文化祭へ出展する作品作りを、職員と一緒に楽しんでおります。隣接する協力医療機関の診察や、緊急時の対応が可能となっております。利用者の気持ちを大切に思い、柔軟に対応することで、一人一人の健康管理の継続を図り、笑顔の絶えない明るいホームの雰囲気につながっております。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

静かな住宅地の中、病院に隣接して建っている。広々として明るいホールに利用者自ら作製した手芸品が飾られ、季節を感じる手がかりや話題提供の糸口になっている。穏やかな空気が漂う空間に居心地の良さを感じるホームである。

## ○ 一人ひとりに応じた自立支援

できる限り利用者と一緒に行動することにより、思いや意向、利用者の力を生活の中から見つけだし、その人らしい暮らしを考え、自立支援につなげようと努力している。

## ○ 家族とのつながり

利用者には以前より使用していた馴染み深いものを居室に持ち込んでいただき、家族の希望があれば家族の宿泊もできるよう対応している。家族とのつながりになるべく維持できるよう考慮している。

## ○ 利用者のペースに合わせる。

自立支援を意識した介護を目指し、残存能力の向上を目指した支援のなか職員のチームワークを活かし、余裕をもった介護を行っている。利用者のペースを尊重し、のんびりゆったりとした雰囲気になり利用者の笑顔に結びついている。

## グループホーム さくらが丘 (1F)

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念に基づいての実践に取り組む努力をしており、毎朝理念唱和を行なっている。	理念には「地域との交流を深める」などの言葉を含み、地域に根ざしたサービスを意識できる内容が盛り込まれている。理念を掲示するとともに、朝礼、勉強会にて具体的に話し合っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域の色々な行事への参加や、毎月曜日に地域の清掃ボランティアを行ない、地域交流を保つよう日頃より心がけている。	近所の方たちから野菜の差し入れをいただいたり、校区の催しに参加し、公園等へ散歩で出会う地域の方へのあいさつや声かけなどにより関係づくりに力を入れている。地域の清掃ボランティアに参加したりまたボランティアの受け入れを行うなど、日常的に交流が行われている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議へ地域の民生委員の方々に参加していただいたり、見学などを通して認知症の方々の理解を深めてもらい、支援をお願いしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の運営推進会議において、ホームの動きやサービスの内容などを説明し、ご家族の方からも意見を頂きサービスに反映させている。	2ヶ月に1回開催され、事業所行事等の報告のみではなく、出席者の意見や助言などがあり、有意義な会になっていることが議事録より確認できる。外部評価の取り組みでは、評価結果をコピーして運営推進会議の参加者に配布するほか利用者の全家族へ配布、また玄関付近に掲示するなど、共有を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	毎月のたよりを市の窓口に届け、市の介護相談も積極的に受けており、協力関係を築くよう取り組んでいる。	市担当窓口へ毎月の広報誌を届けたり事務手続きやその他の機会に訪問し、問題や事故や認定手続きなどの情報交換を行い、積極的に協力関係を構築するための努力をしている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	開設当初より身体拘束をしないケアに取り組んでおり、2ヶ月に1回の勉強会を行っている。	身体拘束廃止委員会を設置し、マニュアルの作成や研修を行い、玄関をはじめ各居室に鍵をかけない自由な暮らしの支援を職員の努力で実現している。職員は常に利用者の状態を把握し、外出されるときにはさりげなくついて出たり、見守りを行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束と虐待の勉強会を交互に行っており、虐待防止の理解（なぜ虐待を行なったらいけないか等）を深め、予防に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	必要性のある入居者には勧められるように、年間の勉強会の中に組み入れている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時は、利用者及びご家族に充分説明を行ない安心した入居につなげている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族の来訪時には、状態報告を行ない、困ったことや不安に思っておられる事などないかの声かけをしている。	玄関に意見箱を設置すると共に重要事項説明書に相談窓口を記載している。家族が意見や要望を表しやすいような工夫と配慮が感じられる。職員が苦情・相談などを把握した時には経過記録などで他の職員と情報を共有し、必要な場合は職員会議で話し合い、本人や家族に報告するなど速やかな解決を図っている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月のミーティングの中で、色々な意見や要望を出してもらい、職員一人一人に声かけをし運営がスムーズにいくように努めている。	管理者は定例ミーティングの他にも、朝礼、勉強会の機会に職員から意見・要望を聞いたり、気軽に声をかけやすい雰囲気づくりに心がけている。また悩みがありそうな職員には個別面談を行い早めの問題解決を図っている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の要望などを聞き、働きやすい職場作りに努めている。又、勤務実績に基づき資格取得に向けた支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部 外部研修の参加を勧めており、定例ミーティング時に研修報告をしてもらっている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>谷山地区グループホームの勉強会に参加し、意見交換などを行ない、ネットワーク作りをし、質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>契約時は、ご本人の要望などを聞き、安心して生活へつなげられるようにしている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族の不安な事や要望を充分聴き、ご家族の思いを理解し受け止めるようにしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>サービスの開始に際し、ご家族とご本人を交え相談を行ない、その人に必要なサービスの検討を行ない、必要があれば他機関との連絡をとっている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>入居者一人一人を家族としてとらえ、ともに支えられる関係づくりに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	一人一人をともに支える関係である事を認識し、家族のつながりを大事に思い、日頃の状態など変化時は報告し、より良い関係作りに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会の時間を設けず、いつでも来訪していただける工夫をしている。又、家族との関係が遠退かないよう定期的に電話での会話を勧めたりしている。	家族や本人とのふれあいや会話の中から把握した情報を記録した個人情報シートや面会簿を活用し、利用者を支えてくれていた人間関係を把握するとともに、関係を継続できるよう面会、電話の支援や、墓参りやなじみの店への買い物などの支援を行っている。また、ホームで家族の宿泊も可能である。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士がゆっくりとテレビを見たり、会話ができる環境作りをし、お互いが支えられるような関係作りの支援を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去されても要望に応じて相談を受け、支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のかかわりの中で、ご本人の希望や思いを聴き、できるだけ一人一人の希望に添えるよう努めている。尚、表情などから思いや希望を捉えるようにしている	利用開始前に本人や家族、関係者からどのように暮らしたいかを聞き、個人情報シートなどに記載し、介護計画に活かしている。入居後は日々のかかわりの中で本人の意向をくみ取り、ケア会議などの場で職員間の共有をはかっている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人の生活暦などを、家族に聞いたり、生活の中でご本人から聞き、サービス利用にいたった経緯などの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	カンファレンス時に一人一人のきずきの検討会を行ない、情報共有をし、心身状態の把握に努めている。		
26	1	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族及びスタッフから意見や要望を聞き（ご本人参加の場合もある）、出された意見などをプランに反映させている。	本人も参加した担当者会議を開き、家族や主治医の意見を取り入れながら計画を作成している。また、ケアカンファレンスで介護支援専門員と職員が話し合い、介護計画を作成することで、職員はすべての利用者の介護計画を意識しながら日常の介護を行っている。	日ごろの状況は外部の関係者と話し合われているが、その内容は介護計画書の中で書面として確認できなかったため、今後は介護計画等に記載し、記録として残しておく意向である。



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の生活の状況や、身体状況を個別に記録を行い、職員間で情報共有をし、毎日のケア実践に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人の状態や、ご家族の要望や状況に応じて、他科受診を行ったり柔軟な対応に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	必要に応じて地域包括支援センターと連絡を取り合って在宅に向けての相談を行ったりしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医であったり、希望される医療機関の受診支援を行っている。受診時は、ご家族と連携を取っており、職員対応時は、受診後ご家族へ報告をおこなっている。	かかりつけ医は利用前からかかっている医療機関に本人や家族の意向を大切に決めていく。治療受診時も適切な治療が受けられるように個人別の病院受診連絡帳等で情報提供に努めており、良い関係がつけられている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>入居者の状態変化時などには、看護職員及び管理者に連絡し、相談を行ない、適切な医療受診につなげている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時にはご本人の情報提供を行い、できるだけ早い退院に結びつくようご家族と連絡を取り合っている。又、できる範囲で職員が見舞っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議などを通して重度化や終末期について話し合いを行ない、見取りについて検討を重ねている。又、協力医療機関との相談も行っている。</p>	<p>重度化や看取りに対するアンケートを家族に行い、意見を集約している。方針について書面化はされていないものの、医療関係者や職員間での共有も図られている。</p>	<p>看取りについて前向きに家族や外部の関係者と話し合いを行っている。今後は意見をまとめ、方針も含め書面化する意向である。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>定期的に（年に1回）急変時、事故発生時の対応の訓練を、スタッフ全員の参加で繰り返し行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回の消防避難訓練を行い、避難方法などを見につけている。同時に災害時の注意点なども指導を受けている。</p>	<p>夜間体制を含めた避難訓練や消火訓練を行うとともに、マニュアルを作成し研修にも取り組んでいる。地域住民とは応援協定を締結してもらい呼び掛けを行った結果、協力して災害対策を行う体制を整えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その人に合った言葉掛けに努め、その人の人間性を傷つけない対応に心がけている。	玄関に方針を掲示し、利用者への言葉かけはプライドを傷つせず、自己決定しやすいように努めている。また、記録等は事務室の鍵のかかる棚に保管し外来者の目につかないように配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	普段の生活の中で、その人の状態にあわせ、希望を聞きだす働きかけを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人の生活のペースを大切に、ホーム側の日課に合わせることを無理じいしないようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	その人らしいおしゃれや身だしなみの支援に努め、2か月に1回訪問美容があり、希望に合わせたカットを楽しまれている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その人のレベルに合わせた盛り付け等を、職員と一緒にしない、楽しい食卓になるように心がけている。	利用者と料理番組を見ながら献立の話をし、食事の希望や食欲を引き出す工夫をしている。また季節に応じた食材を利用したり、配膳、下膳と一緒にしたりすることで食への関心をより持たせるようにし、食事は職員も一緒に会話を楽しみながらとっている。ほかにも食事前の嚥下体操や外食などを取り入れ、様々な食の支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一週間を通じて、肉、野菜、魚をバランスよく取り入れた食事に努めている。又、適切な一日の水分摂取ができるよう、好みの飲み物を勧めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声掛けを行い、一人一人の力に応じた口腔内の清潔に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを把握して、スムーズなトイレ利用につなげる声かけに努めている。	時間単位の排泄チェック表を作成し、時間単位での確認で、本人の生活リズムや排泄パターンを把握し、自立支援へむけて介護を行っている。その結果、オムツが外れた利用者もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	繊維分の多い食品を用いたり、毎日、室内体操や、起立練習を取り入れ便秘対策に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	本人がお風呂に入りたくなる声かけに努め、その人の身体状態に応じた入浴の支援を行っている。	体調や希望により入浴やシャワーなどの対応ができる。入浴を嫌われる方にはできるだけタイミングをみて声をかけるなど気持ちよく入浴できるよう支援している。また、季節によりしょうぶやゆず湯などの入浴を楽しめるよう工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その人の生活パターンを理解し、身体状態、希望に応じて午睡を勧めたり、夜間の安眠につなげる為、それぞれに応じた日中の活動を支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬文献をファイルし、薬の内容や副作用の把握を行っている。又、薬の変更などがあった場合は、医療受診ノートに記載し情報共有を行ない、服薬後の変化など確認を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その人のできる事の把握に努め役割を持ってもらい張り合いの持てる生活の支援を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	本人の希望にそって、買い物兼ねた散歩をしたり、ドライブを楽しんで気分転換を図っている。又、年に2回外食を計画している。	天気の良い日は家庭菜園の手入れやお花見や外気浴が行われている。また、本人の希望に応じて買い物、ドライブ、墓参りなど戸外に出かけられるように配慮し、気分転換やストレス発散、五感刺激の機会として外出の支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>買い物散歩に出かけた際は、自分の財布から支払いが出来るよう支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>遠方にいる家族とのつながりを絶やさない為に、定期的な電話での会話や、手紙のやり取りが出来る支援を行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有の場で居心地よく過ごしていただけるよう、季節の花々を飾り、安らぎの空間づくりに努めている。</p>	<p>共有空間には絵画や花が飾られ、リビングや廊下は思い思いにくつろぐことができるスペースが確保されている。リビングは日差しが差し込み明るく、心やすらぐ家庭的な雰囲気がただよい、居心地よい空間となっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用空間にソファなどを置き、入居者同士が会話を楽しみながら、思い思いに過ごせるよう居場所づくりを工夫している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	2	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族と相談し、ご本人のなじみのものを居室内に置き、その人らしい部屋作りを支援し、安心した生活につなげている。	家族とも相談し、一人ひとりの希望や状況に応じて仏壇、テレビ、冷蔵庫、椅子、ラジオ、ぬいぐるみなど馴染みのあるものを持ち込んで、その人らしい居室作りを工夫して、居心地よく過ごせるようにしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安心安全な環境作りに配慮し、できる事を生活の中で一つでも増やせるように工夫を行っている。		



## グループホーム さくらが丘 (2F)

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎日の朝礼時、出勤者全員で理念の唱和を行ない、理解を深め、実践につなげている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	グループホームに隣接する託児所の子供たちとの交流の場をもったりと、地域とのつながりがもてるよう取り組んでいる。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	毎週月曜日に地域の清掃ボランティアを行っており、地域の方々と挨拶を交わしている。又、地域の行事に参加し親睦を図っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の運営推進会議を開き、地域の方々に（地域のスーパー店長、警察の方）参加していただき、活動の報告を行ない、又助言などを頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市の窓口定期的にホームたよりを届けており、市の介護相談も積極的に受け入れている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	2ヶ月に1回、身体拘束マニュアル勉強会を行ない、拘束をしないケアに取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	2ヶ月に1回、虐待防止マニュアル勉強会を行っており、虐待が見過ごされないように、又防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	内部研修のなかで権利擁護を取り上げ、必要時には活用できる様に努力している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時は、利用者、家族に対して説明を充分行ない、利用者家族からの不安及び要望を聴き、理解納得を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>入り口に意見箱を設置し、要望があった場合はスタッフ間で検討し運営に反映させている。又、ご家族の来訪時には、不安や困ったことなどが無いかの声かけを行っている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>一ヶ月に1回のミーティングの中で、スタッフから色々な意見を聞いたりして、より良い運営につなげている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の勤務体制など考慮してもらい、働きやすい職場作りをしてもらっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部、外部研修に参加する機会を設け、スタッフのステップアップにつなげている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>谷山地区グループホームの勉強会に参加し、意見交換などを行ない質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時、ご本人及びご家族からの情報収集を行ない、ご本人が安心して生活が送れるよう支援に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に、ご家族が不安に思う事や要望などを充分聴き、安心してグループホームとの関係が築けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前にご本人を訪問し、状態の把握を行ない、本人を交えご家族と相談検討を行ないその人に合ったサービスの提供に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一人一人のできる事を把握し、個々に合った生活能力を引き出し、共同生活が送れるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族との連携を密にとっていき、ご本人を共にささえられる関係作りを心がけている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今まで使っていた家具類を居室に配置したり、家族や友人の面会を、時間の制限をしないでいつでも面会ができるようにしている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人一人の性格を把握し、利用者同士が楽しく生活が送れるよう支援している。又コミュニケーションが摂りにくい時は、スタッフが橋渡し役となり、入居者同士のより良い関係作りができるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後もご家族からの相談を受けたり、状況に応じた対応を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	普段の生活の中から、一人一人の希望を理解、把握し、本人の意向に近づけるよう支援している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人の生活暦をご家族に聞いたり情報収集にて把握を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1ヶ月に1回のケースカンファレンスを行ないその人の生活、心身状態等、きずきの点などを情報交換し、現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族との話し合いを行なった理、月に1度の職員間で行なうケアカンファを基に、意見を出し合い、現状に合った介護計画の作成をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の生活の状況や身体状況を記録し、スタッフ間で情報共有し介護計画の見直しに反映させている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一人一人の身体状況に応じて他科受診を行ったり、柔軟な対応に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議に地域包括支援センターの方にも参加していただき、必要時には協力関係が取れるよう働きかけている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	隣接する病院に2週間に1度の受診を行ない、受診後はご家族に必ず電話にて結果報告をしている。又、入居者の状態によっては、必要な病院を勧めたりの対応を行なっている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	管理者が看護師であり、入居者の病状などを伝え、適切な受診が受けられるよう指示を受けている。又、内服などのことを病院の看護師に相談したりして、一人一人の健康管理に努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院した際は、病院側に十分な情報提供を行ない、早い退院に結び付けている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	運営推進会議時に、ご家族とターミナルについて相談検討を行っている。又協力医療機関との相談も行っている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員間の連絡網にて連絡を取り合い、管理者及びホーム近くの職員の応援要請を行なう。又、年に1度、救急蘇生の講習を受け緊急時に備えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回消防避難訓練を行なっている。尚、消防訓練時にご家族や地域の方にも参加していただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の今までの生活観を尊重して、誇りやプライバシーを損ねない言葉掛けや対応に心がけている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	普段の生活の中で、その人が自己決定できる様に働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人のペースを大切にして、時間で無理じいすることがないように心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入居者の好みを大切にし、おしゃれの支援を行っている。 又、2ヶ月に1回、訪問美容室があり本人好みのカットを楽しまれている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の下準備や、盛り付けをスタッフと一緒にしたり、楽しい雰囲気の中で食事ができるよう工夫をしている。下膳や、あとかたづけも一緒に行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一週間の中で、肉、野菜、魚をバランスよく取り入れたメニューに努めている。又、十分な水分補給に努め、スムーズな排便につなげている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声かけを行ない、出来ない部分の補佐をし、口腔内の清潔保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを把握し、トイレでの排泄が自立できる様に取り組んでいる。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日、軽体操や立ち上がり運動を行ったり、補水に努めると同時に、繊維の多い食事の工夫を行ない、便秘予防に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	一人一人の体調や気分に応じた入浴ができるように支援している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個人の生活習慣に応じて午睡を勧めたり、夜間の入床前は、安心して睡眠につなげるためにゆっくりとした会話の時間を大切にしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人一人の内服薬の種類や効用の把握に努め、体調変化の管理を行っている。又、体調変化時は、医療機関と相談し、受診などを行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個人のできる事、楽しみにしている事を見出し、生活に張り合いが持てるよう工夫をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	年間行事予定の中に、季節ごとに外出を組み入れている。又日常生活の中では、買い物に出かけたり、地域の行事に出かけたりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理は職員が行っているが、買い物に出かけた際は本人が支払いを行なうよう支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>毎年、年賀状は、それぞれのご家族にご本人から出してもらう取り組みを行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホール内は季節感を取り入れた環境作りに努め、入居者が落ち行いて過ごせるよう工夫している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールの自席やソファ、和室で思い思いに過されたり、利用者同士が、話のできる居場所作りに勤めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人がいままで使い慣れた生活用品を居室に置き、安心した生活が送れるよう工夫している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個人の状態に合わせて目印をつけたり、環境整備に努め、出来るだけ自立した生活が送れるよう工夫している。		

## V アウトカム項目 グループホーム さくらが丘 (1F)

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない



60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

## V アウトカム項目 グループホーム さくらが丘 (2F)

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない